

区立図書館の図書館機能向上について

1 概要

図書館資料に I C タグを貼付し、セルフ貸出機やセルフ返却機、予約資料の受取棚等の I C T 機器を導入することにより、貸出利用のセルフ化を図り、利用者のプライバシーに一層配慮するとともに、より便利で快適に利用できるサービスを提供する。

また、利用者が多様な学習活動を行うことができる環境づくりを進め、「学びの拠点」としての機能向上を図る。

2 機能向上の内容

(1) I C T 機器導入による機能向上

	サービス名称	主な機能
1	セルフ貸出・返却サービス	セルフ貸出機及び返却機を設置し、利用者自身が簡易に貸出及び返却手続きを行うことで、利用者のプライバシー保護に一層配慮するとともに、利便性の向上を図る。
2	セルフ予約受取サービス	予約した資料の照会機を設置し、受取から貸出までを利用者自身が行うことで、迅速化を図る。
3	セキュリティゲート管理	セキュリティゲートの設置により、館内資料のより適切な管理を行う。また、入館者数をカウントすることで館内の利用状況を把握・分析し、サービス向上を図る。
4	ハンディ機器による蔵書管理	ハンディ機器の使用により、誤排架資料を探索して蔵書管理の正確性を高めるとともに、蔵書点検作業を効率化して、作業時間の短縮を図る。

(2) 閲覧環境の整備による機能向上

利用席の増設とともに、利用要件を緩和することで、学習活動を行うための環境の充実を図る。

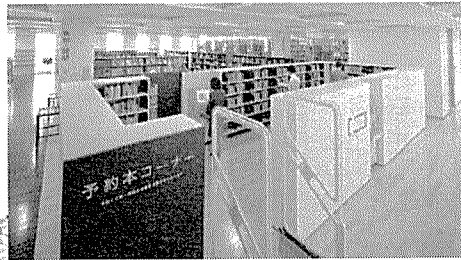
3 今後のスケジュール（予定）

- 令和 6 年 12 月 真砂中央図書館の所蔵資料への I C タグ貼付完了
 7 年 1 月 真砂中央図書館にセルフ貸出機を先行導入し、一部のサービス（セルフ貸出）を開始
 3 月 地区館の所蔵資料への I C タグ貼付完了
 8 年 1 月 図書館システムの更新と併せて全館でサービスを開始

【参考】導入のイメージ



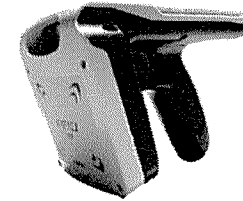
セルフ貸出機
利用者自身で貸出処理を行います。



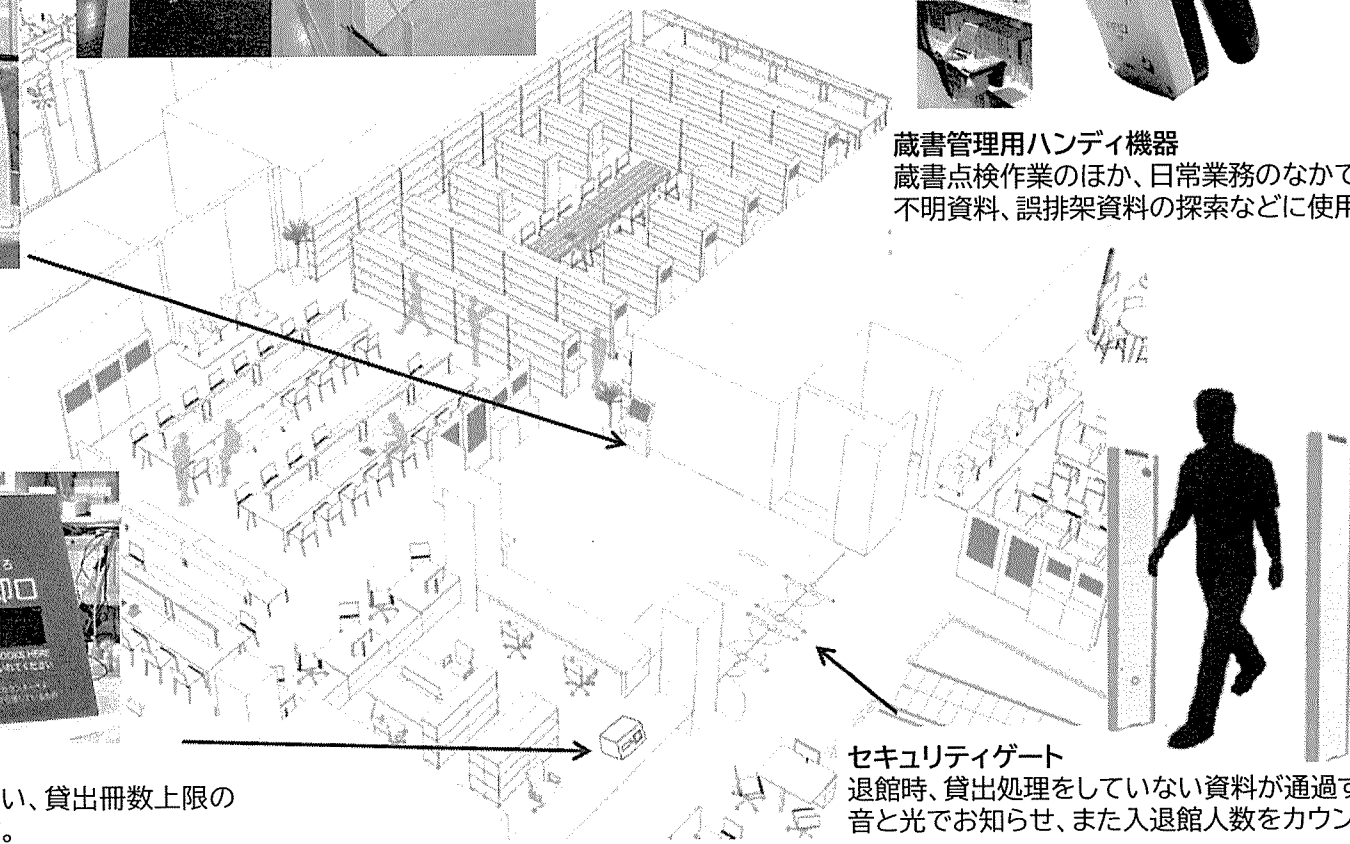
セルフ予約受取コーナー
予約した資料を利用者自身が棚から取り出します。



蔵書管理用ハンディ機器
蔵書点検作業のほか、日常業務のなかで不明資料、誤排架資料の探索などに使用します。



セルフ返却機
一時返却処理を行い、貸出冊数上限のリセットを行います。



セキュリティゲート
退館時、貸出処理をしていない資料が通過すると音と光でお知らせ、また入退館人数をカウントします。